

➡ 地盤沈下、変位抑制！

従来、鋼矢板やH鋼などの土留部材は、周辺に構造物や埋設物がある場合、引抜回収せず残置をします。これは、引抜回収時に発生する空隙が原因の地盤変位が周辺の構造物や埋設物に悪影響を及ぼす可能性が明確であると判断されているからです。

本工法は土留部材に特殊充填管を設置し本工事完了後、土留部材を引抜くと同時に生じた空隙へ固化剤を充填し引抜回収の影響を高度に抑制して、土留部材を安心安全に回収出来る工法です。

➡ 環境にやさしい！

土留部材を引抜回収する事で資源の消費節約となり、更に再利用する事によって土留部材の形鋼製造過程で発生するCO2が削減される為、環境維持・改善につながります。

➡ コスト削減が可能！

※目安です。現場条件によって金額は変動しますのでお問合せ下さい。

鋼矢板を残置した場合と比較してみると

V L型=約 50%

IV型=約 40%

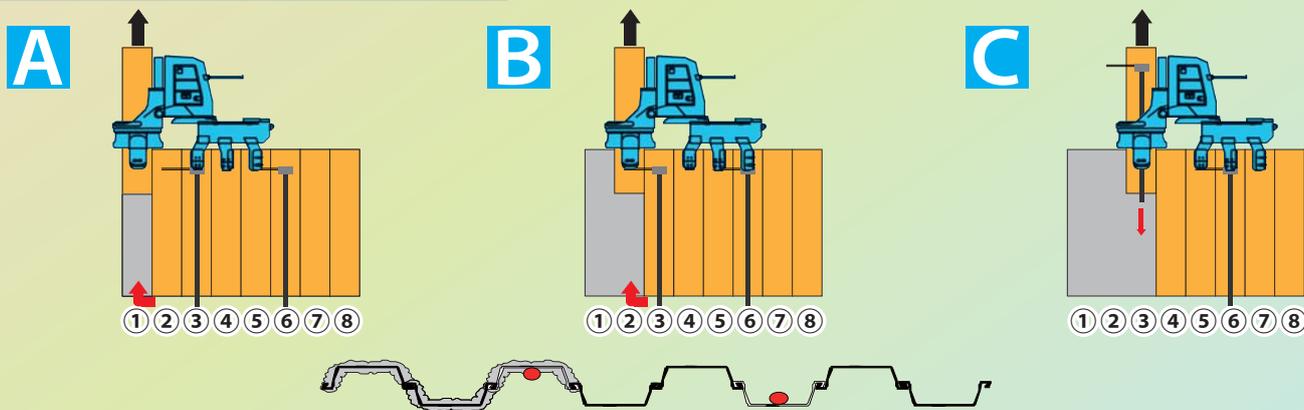
III型=約 30%

II型=約 20%

標準的な施工順序

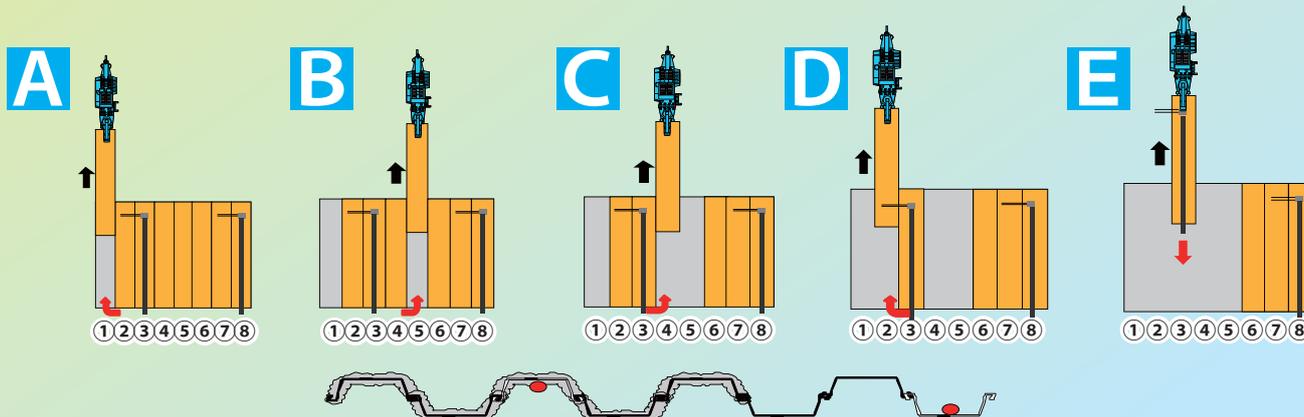
➡ 油圧式圧入引抜機の場合

1 → 2 → 3 → 注入管洗浄 4 → 5 → 6 → 注入管洗浄



➡ バイブロハンマの場合

1 → 5 → 4 → 2 → 3 → 注入管洗浄 6 → 1 0
→ 9 → 7 → 8 → 注入管洗浄



施工事例



→ 民家際での施工 1



→ 河川内（ため池）での施工



→ 交通量の多い道路際での施工



→ 河川での施工 1



→ 堤防での施工



→ 車上プラント設備



→ 特殊充填管設置状況



→ 充填完了



→ 充填完了（これは鋼矢板ではありません。充填材です。）

施工実績 合計 112 件

- 農政局 : 18 件
- 国土交通省 : 28 件
- 都道府県市町村 : 46 件
- 民間 : 20 件

※ H28 年 5 月現在施工中、施工完了

関連特許

- 特許取得 4 件 : 特許第 3940735 号
特許第 4897985 号
特許第 5390919 号
特許第 5635804 号
- 特許申請中 3 件

新技術登録

- 中国四国農政局 H23 年度
- 国土交通省 NETIS SK-080012-V
- 東京都建設局 1101014
- 東京都港湾局 22006
- 宮崎県 B 区分

皆様へのお願い

ご質問等があれば、Q&A集も用意していますので、下記の窓口へいつでもお気軽にご連絡ください。お問合せの際には、お手数ですが個別案件ごとに土留構造図、沈下抑制対象構築物、地盤情報などを提供ください。概算工事費、工程等を速やかに回答いたします。

〒550-0012
大阪府 大阪市西区立売堀2-4-19 日東ビル2F 協同組合Masters内
TEL.06-6110-8050 / FAX.06-6110-8055
具体的な相談は下記の担当者までお願いします。
担当者: 渡辺 携帯No: 090-7575-6025
E-mail: watanabe@masters.coop HP: http://www.masters.coop/